

2022年9月5日

報道関係者各位

2050年カーボンニュートラルの実現に向けたロードマップを策定

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：川村和夫）は長期的な地球環境の課題を認識し持続可能な社会に貢献するため、2050年カーボンニュートラルの実現に向けたロードマップを策定しました。

明治グループの事業は、生乳やカカオや乳酸菌、微生物に代表される豊かな自然の恵みの上に成り立っています。そのため私たちは、地球環境と共に生き、自然と共生していくことが責務であると考えています。

しかし、近年、気候変動などの要因により地球環境の持続可能性が危ぶまれています。明治グループでは、気候変動の主な原因物質であるCO₂をサプライチェーン全体で実質ゼロにするカーボンニュートラルを目指した取り組みを進めており、このほどその実現に向けたロードマップを策定いたしました。

2030年度に2019年度比、Scope1+2[※]のCO₂排出量50%削減、Scope3[※]のCO₂排出量30%削減を目指し、さらに2050年にカーボンニュートラルの実現を目指しています。この目標達成に向けて、省エネ設備の導入や再生可能エネルギー由来の電力への切り替え、サプライヤーへの積極的な働きかけなどを進めています。

※Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）

Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3：Scope1、Scope2以外の間接排出で、サプライチェーンからのCO₂排出量

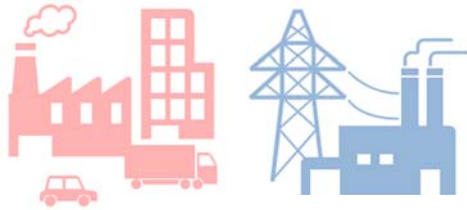
明治グループは、本取り組みを企業成長の機会と捉え、経済社会システム全体への変革（GX：Green Transformation）へ挑戦していきます。

【ロードマップにおける2つの目標】

1 Scope1、Scope2 における
カーボンニュートラルを目指す

温室効果ガス排出量 (2019年度比)

2030年度 **50%削減**
2050年 **実質0** を実現



2 Scope3 における
カーボンニュートラルを目指す

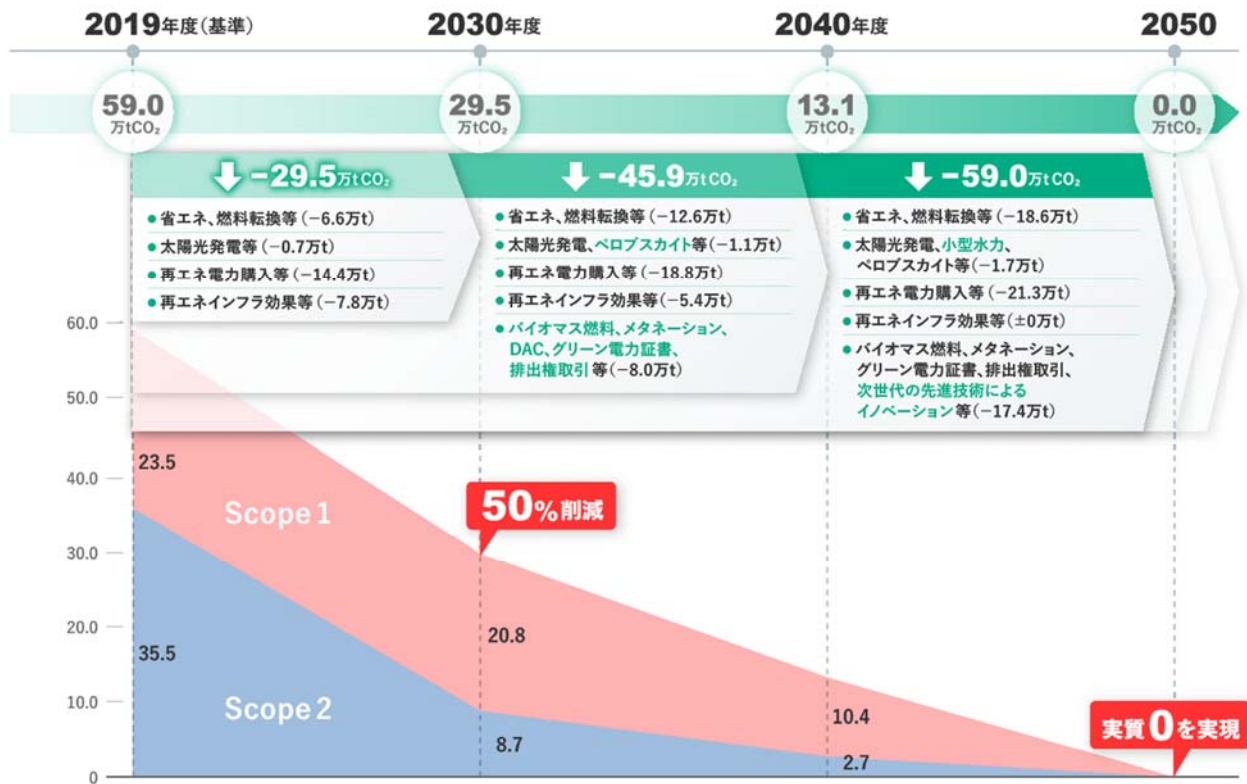
温室効果ガス排出量 (2019年度比)

2030年度 **30%削減**
2050年 **実質0** を実現



明治グループが特に取り組む項目

【2050年に向けたロードマップ (Scope 1、Scope2)】



【試算条件】 KPI再エネ電力比率2030年度50%、電力CO₂排出係数はIEAの2050年ゼロシナリオに基づく。SBT認定の数値。

*グリーン文字：現在開発が進められている新技術

詳細（動画・PDF）は、当社 Web サイトにてご覧いただけます。

（サステナビリティ — 環境との調和 — 脱炭素社会 — 脱炭素社会に対する考え方）

https://www.meiji.com/sustainability/harmony/climate_change/#02

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

明治ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL : 03-3273-3917 メールアドレス : ir-info@meiji.com